

第3期知床半島エゾシカ管理計画 隣接地域について

1 WGで出された課題（知床半島エゾシカ管理計画第4期計画(2022～26)に向けての隣接地域におけるエゾシカ管理について現状と課題）

論 点

- 1) 利活用等を通じた持続可能な管理体制の構築が検討されていない。
- 2) 地域への還元を含めたコミュニティベースの個体数調整の今後のあり方が見えていない。
- 3) エゾシカ・ヒグマWG 会議から、上記2点に関する今後の方向性を遅くとも2020年度中に示して、議論を開始し、2022年度からの第4期計画に反映させることが求められている。
- 4) 個体数削減に関する措置は一定程度進んでおり、当該地域のエゾシカは減少傾向にあると思われるが、上記1)～2)を踏まえた具体的な生息密度の目標やその維持ための持続性を有する手法等が検討できていない。
- 5) 利活用を進めながら自律的・持続的に個体数調整が行われる管理体制を維持することができる生息密度をすでに下回っていることが推察されるが、当該地域における森林管理・農業被害管理の視点から許容可能な軋轢レベルの検討と調整が進んでいない。
- 6) 羅臼町においては、そもそも捕獲した個体を利活用できる環境が整っていない。捕獲した個体の処理に費用が発生する状況が改善されなければ、コミュニティベースの個体数調整は成り立たない。

※令和2年度第2回エゾシカ・ヒグマワーキンググループ（12月開催）参考資料5より抜粋。

2 これまでの捕獲状況

- ・過去10年間(H22～R元（一部、R2含む。))の隣接地域全体の捕獲数は、一般狩猟が2,104頭(45%)、羅臼町が974頭(21%)、林野庁が930頭(20%)、斜里町が695頭(15%)である。【別紙1_表1】
- ・地域別の捕獲数は、斜里側2,776頭（59%）、羅臼側1,927頭（41%）である。【表2】
- ・斜里町管内の内訳は、一般狩猟が1,408頭(51%)、町が695頭(25%)、林野庁が673頭(24%)である。【表3】
- ・羅臼町管内の内訳は、町が974頭(51%)、一般狩猟が696頭(36%)、林野庁が257頭(13%)である。【表4】
- ・年度別の捕獲数については、H23(2011)の710頭をピークに増減に波があり、H28以降は減少傾向である。【表5】

3 発見密度の推移について

- ・5年毎の調査(H23、H28、R3)の結果、ウトロと遠音別は大きく減少、真鯉・サシルイは横ばい、羅臼は一端増加しつつも減少傾向に、知西別・春苅古丹も減少傾向である。【表6】
- ・地域別では、斜里エリアは大きく減少後に微増し現状は4.78頭/km²となっている。羅臼エリアは4頭/km²以下の低密度を維持し現状は2.14頭/km²となっている。隣接地域全体では半減し一定の低密度を維持しており、現状は2.78頭/km²となっている。【表7】
- ・オシンコシン～真鯉地区で行っている日中カウント調査においても、H23のピーク時(757頭)から、R2は143頭と19%となっている。【表8】
- ・モニタリングユニット別の捕獲頭数と生息密度の相関は【表9】のとおりである。

4 地域（利害関係者）の意見

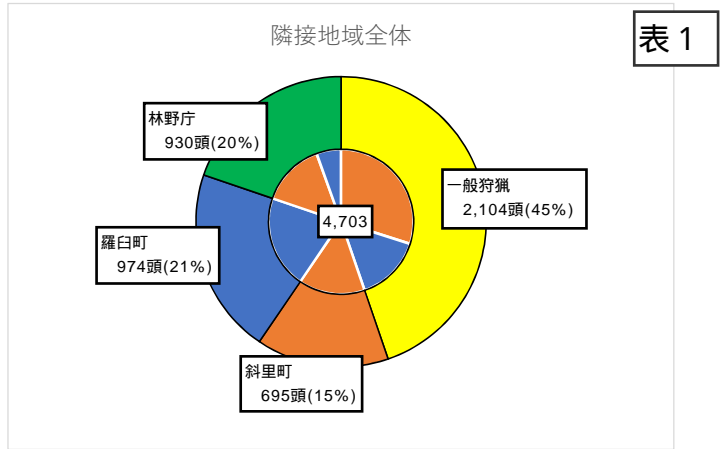
- 1) 斜里町においては、幅広い利害関係者への声かけを行い、住民代表、農業関係者、猟友会、道路管理者、警察が参加し、管理計画の概要と捕獲数及び密度の推移を説明するとともに、意見聴取を実施した。参加がなかった利活用事業者には後日、個別の対応を行った。
意見聴取の結果、昨年、斜里町で実施したヒヤリング（R2第2回WG資料7-2）を含め、農業や住民からは現状以上に低い密度感を求める意見がある一方、観光面においては現状の低密度に懸念の声も一部にはあった。
なお、利活用事業者からは現状の密度感を肯定的に受け止める意見が出された。
また、猟友会からは人材育成のためにも可猟区の確保の要望があった。
- 2) 羅臼町においても、住民代表、農業、猟友会、捕獲事業実施者、観光事業者、利活用者を集め、管理計画の概要と捕獲数及び密度の推移を説明し意見聴取を実施した。
意見聴取の結果、密度調査結果と地域が感じている密度感に差があった。
利活用者からは設備投資への負担の声が、狩猟者からは残滓等の廃棄処理に関する負担が捕獲にも影響しており、処理への対応が要望された。
また、猟友会からは可猟区の確保への要望があった。
- 3) 各利害関係者を集めた説明会・意見聴取を行った結果、それぞれの立場で密度感に違いがあること、遺産価値を守るために一定の捕獲が必要であること、地域の意向に応じた調整を行う考えについても理解が得られ、併せて、より分かりやすい計画とするためにも、現行の密度を一定の目標（目安）に設定し、必要な調整を行っていくことについても特段の異論はなかった。

5 次期計画に向けた考え方

- ・方針については、遺産価値を守ることと併せて、生活圈でもあることも踏まえた地域との共生のあり方、とりわけエゾシカを資源として捉えた利活用への検討を行っていくことに変わりはない。
- ・目標についても、引き続き、地域住民とエゾシカの軋轢緩和を図ることとし、加えて、捕獲を行う以上、一定程度の「数値目標」を目安として設定をする。
- ・目標値は、現状程度である4頭/km²程度を目安として設定する。
- ・しかし目標値は、農業被害、持続的な利活用、観光資源としての位置付け等、地域との調和を図るための捕獲圧を調整する目安とする。
- ・地域からの意見を聞く場を年一回は設ける。
- ・地域との意見交換を通じて、必要な検討を地域と遺産管理者が協働し行っていくこととする。

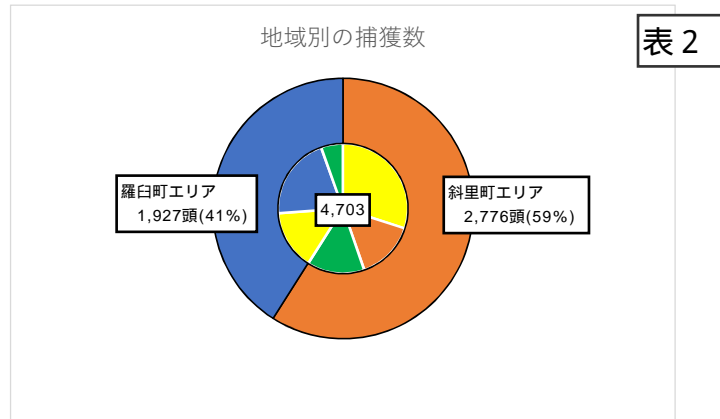
●隣接地域全体

主体	地域	頭数	頭数	割合
一般狩猟	斜里	1,408	2,104	45%
	羅白	696		
斜里町	斜里	695	695	15%
羅白町	羅白	974	974	21%
林野庁	斜里	673	930	20%
	羅白	257		
合計			4,703	



●地域別の捕獲数

地域	主体	頭数	頭数(合計)	割合
斜里町	一般狩猟	1,408	2,776	59%
	町	695		
	林野庁	673		
羅白町	一般狩猟	696	1,927	41%
	町	974		
	林野庁	257		
合計		4,703		

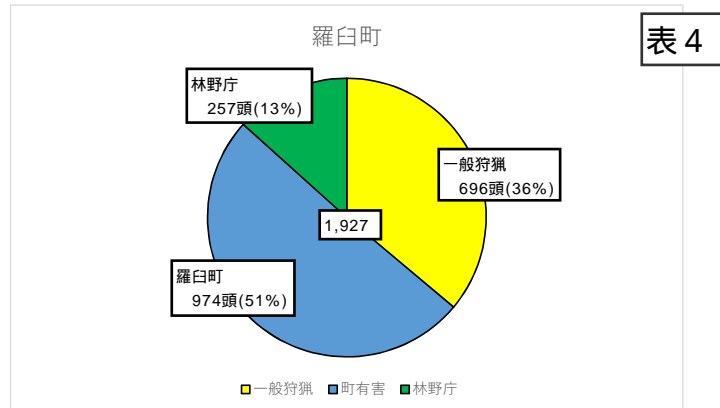
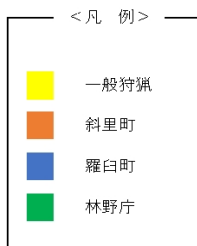
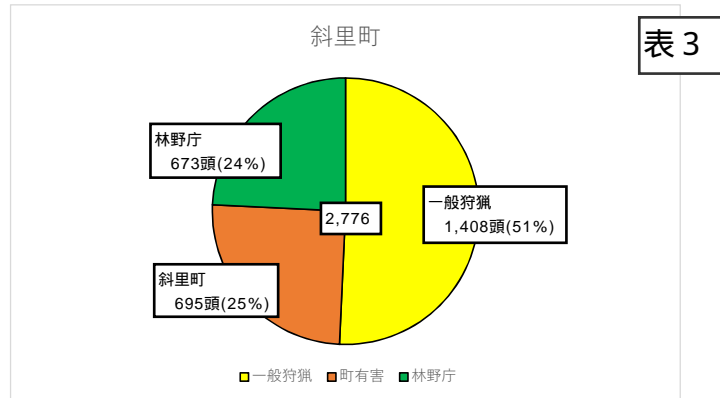


●斜里町

	一般狩猟	町有害	林野庁	合計頭数
斜里町	1,408	695	673	2,776
	51%	25%	24%	

●羅白町

	一般狩猟	町有害	林野庁	合計頭数
羅白町	696	974	257	1,927
	36%	51%	13%	

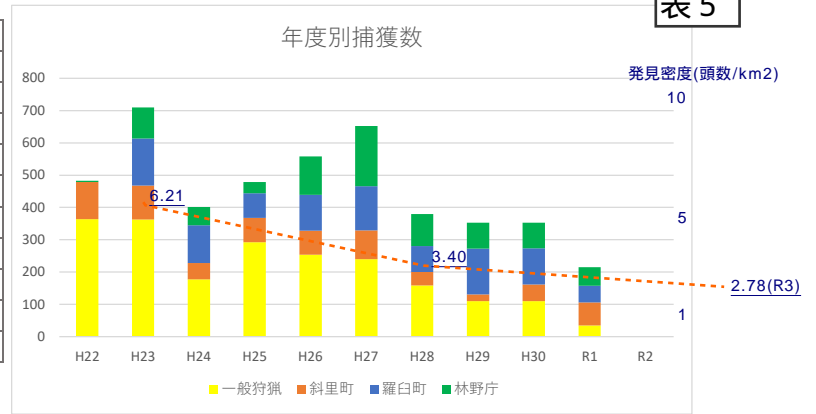


●年度別捕獲数について

	一般狩猟	斜里町	羅臼町	林野庁	合計
H22	364	115		4	483
H23	363	105	146	96	710
H24	177	51	117	56	401
H25	292	76	76	35	479
H26	254	74	111	119	558
H27	240	89	137	186	652
H28	159	41	81	99	380
H29	110	21	142	80	353
H30	110	52	112	79	353
R1	35	71	52	57	215

R2

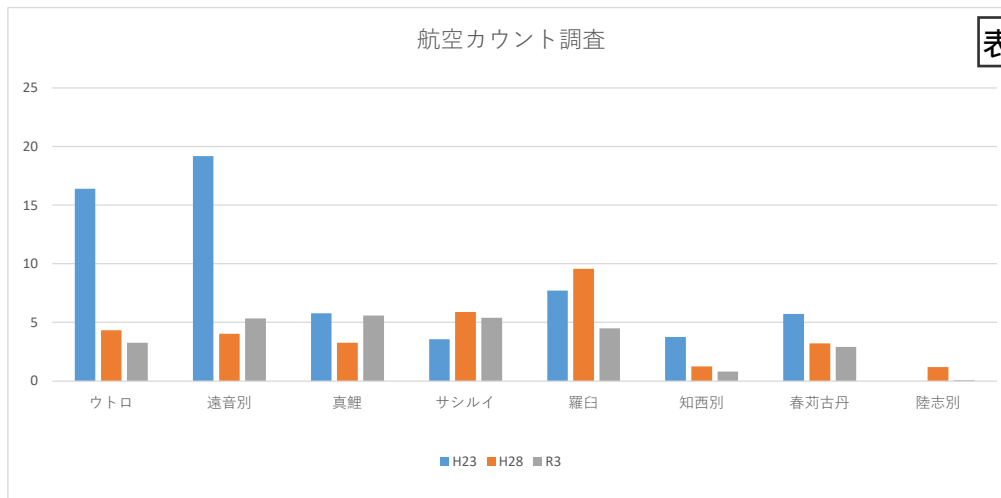
表5



■航空カウント調査について (隣接地域は5年に1度)

	斜里側			羅臼側				
	ウトロ	遠音別	真鯉	サンルイ	羅臼	知西別	春刃古丹	陸志別
H23	16.41	19.19	5.78	3.55	7.72	3.75	5.72	0
H28	4.31	4.01	3.25	5.89	9.58	1.24	3.19	1.17
R3	3.27	5.34	5.58	5.39	4.48	0.79	2.89	0.06

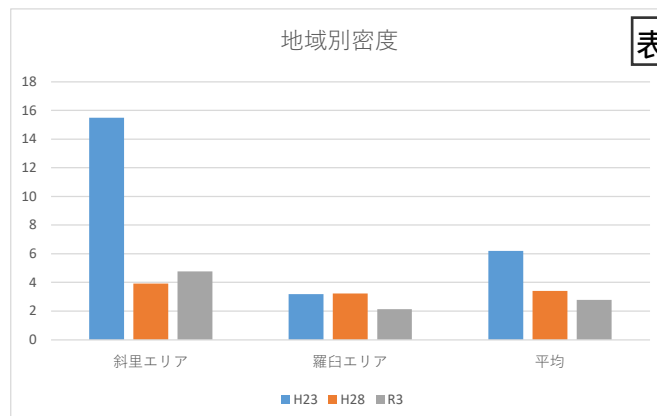
表6



■航空カウント調査 (地域別)

	斜里エリア	羅臼エリア	平均
H23	15.5	3.19	6.21
H28	3.93	3.22	3.4
R3	4.78	2.14	2.78

表7



■日中カウント調査（オシンコシン～真鯉）

H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
505	757	517	472	238	192	121	40	110	75	143

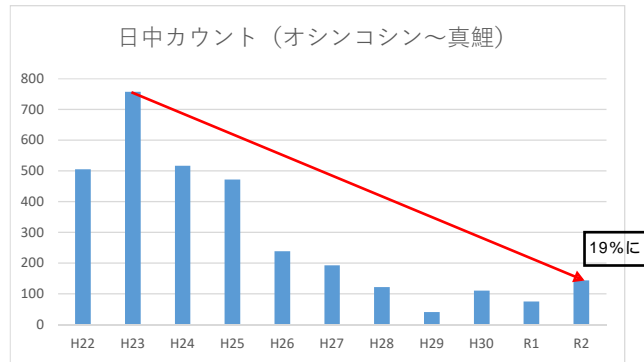
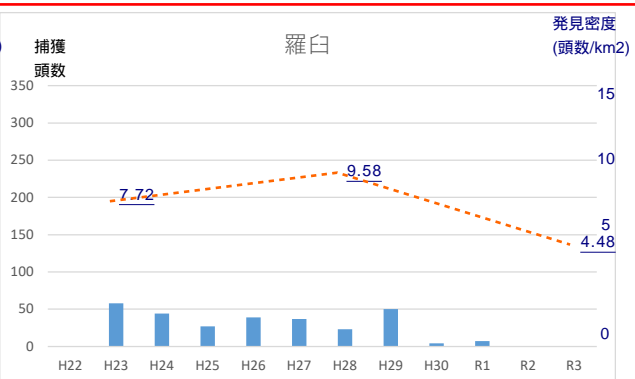
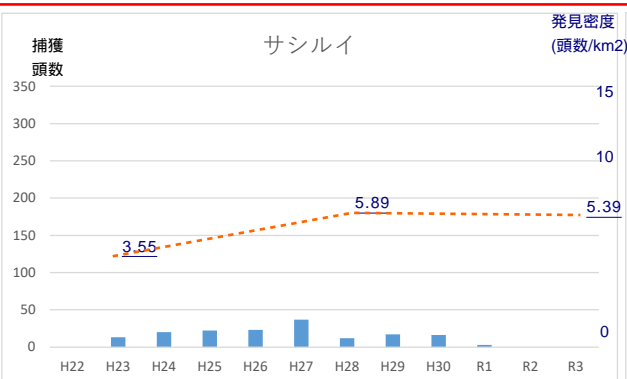
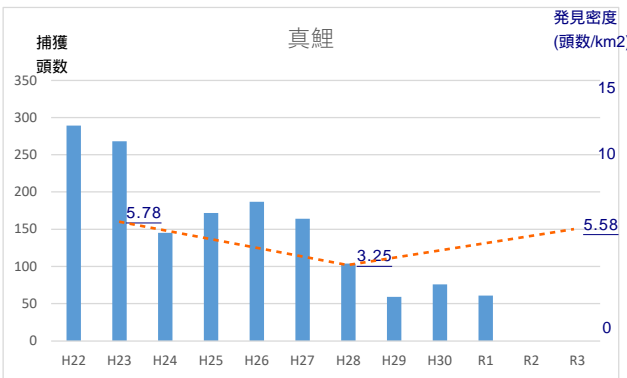
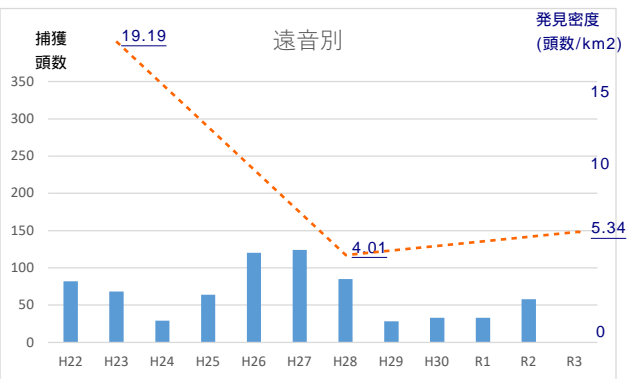
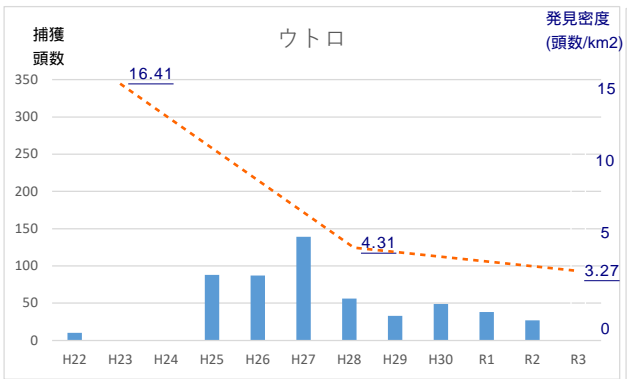


表 8

表 9

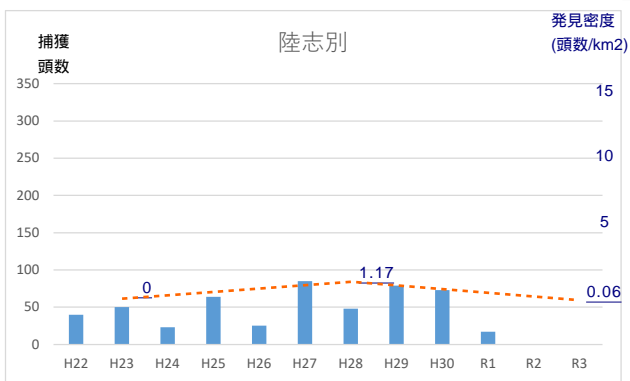
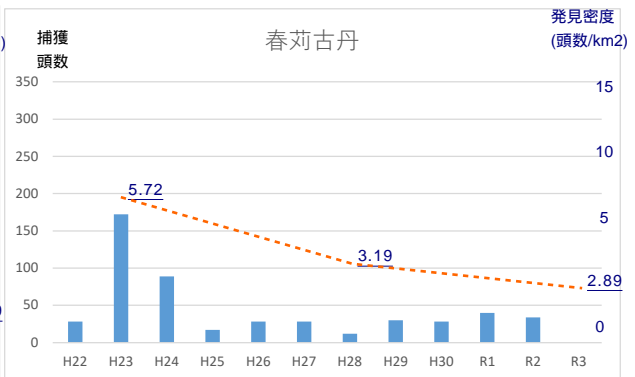
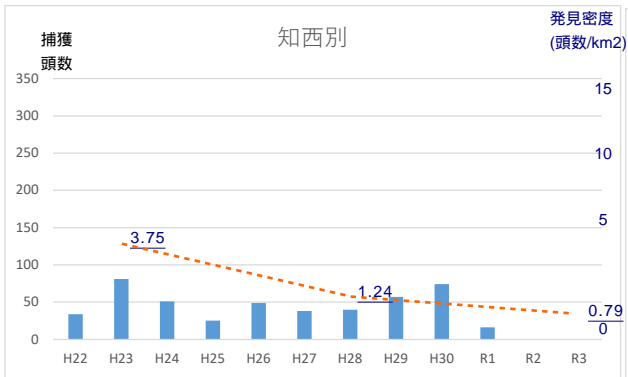
■ モニタリングユニット別捕獲頭数・生息密度

地域	ユニット	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
斜里	ウトロ	10				88	87	139	56	33	49	38	27
	密度		16.41					4.31					3.27
	遠音別	82	68	29	64	120	124	85	28	33	33	58	
	密度		19.19					4.01					5.34
羅臼	真鯉	289	268	145	172	187	164	104	59	76	61		
	密度		5.78					3.25					5.58
	サシレイ		13	20	22	23	37	12	17	16	3		
	密度		3.55					5.89					5.39
	羅臼		58	44	27	39	37	23	50	4	7		
	密度		7.72					9.58					4.48
	知西別	34	81	51	25	49	38	40	57	74	16		
密度		3.75					1.24					0.79	
春刃古丹	28	172	89	17	28	28	12	30	28	40	34		
密度		5.72					3.19					2.89	
陸志別	40	50	23	64	25	85	48	79	73	17			
密度		0					1.17					0.06	



斜里地区

羅臼地区



隣接地域におけるエゾシカ捕獲頭数推移

表 1. 隣接地域におけるエゾシカ捕獲頭数（シカ年度・捕獲主体別）

捕獲主体	第 1 期		第 2 期					第 3 期			計	
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元		R2
一般狩猟	364	363	177	292	254	240	159	110	110	35		2,104
斜里町	115	105	51	76	74	89	41	21	52	71		695
羅臼町		146	117	76	111	137	81	142	112	52		974
林野庁	4	96	56	35	119	186	99	80	79	57	119	930
総計	483	710	401	479	558	652	380	353	353	215	119	4,703
計画期間計	1,193		2,470					1,040			4,703	

注 1：斜里町、羅臼町、林野庁における捕獲頭数は有害捕獲事業による捕獲頭数。

注 2：空欄は集計中のため不明のもの。

注 3：斜里町における捕獲頭数のうち、平成 22 年から平成 24 年の捕獲頭数は、農林水産省緊急捕獲補助金による捕獲頭数（北海道庁所有のデータ）を集計。平成 25 年から令和 2 年の捕獲頭数は、町の有害捕獲奨励金の支出対象となった捕獲頭数にその他有害捕獲事業による頭数（計 176 頭）を加算して集計。

注 4：羅臼町における捕獲頭数は、農林水産省緊急捕獲補助金による捕獲頭数（羅臼町所有のデータ）を集計。

注 5：一般狩猟の捕獲頭数は捕獲許可証記載の頭数（北海道庁所有のデータ）を集計。

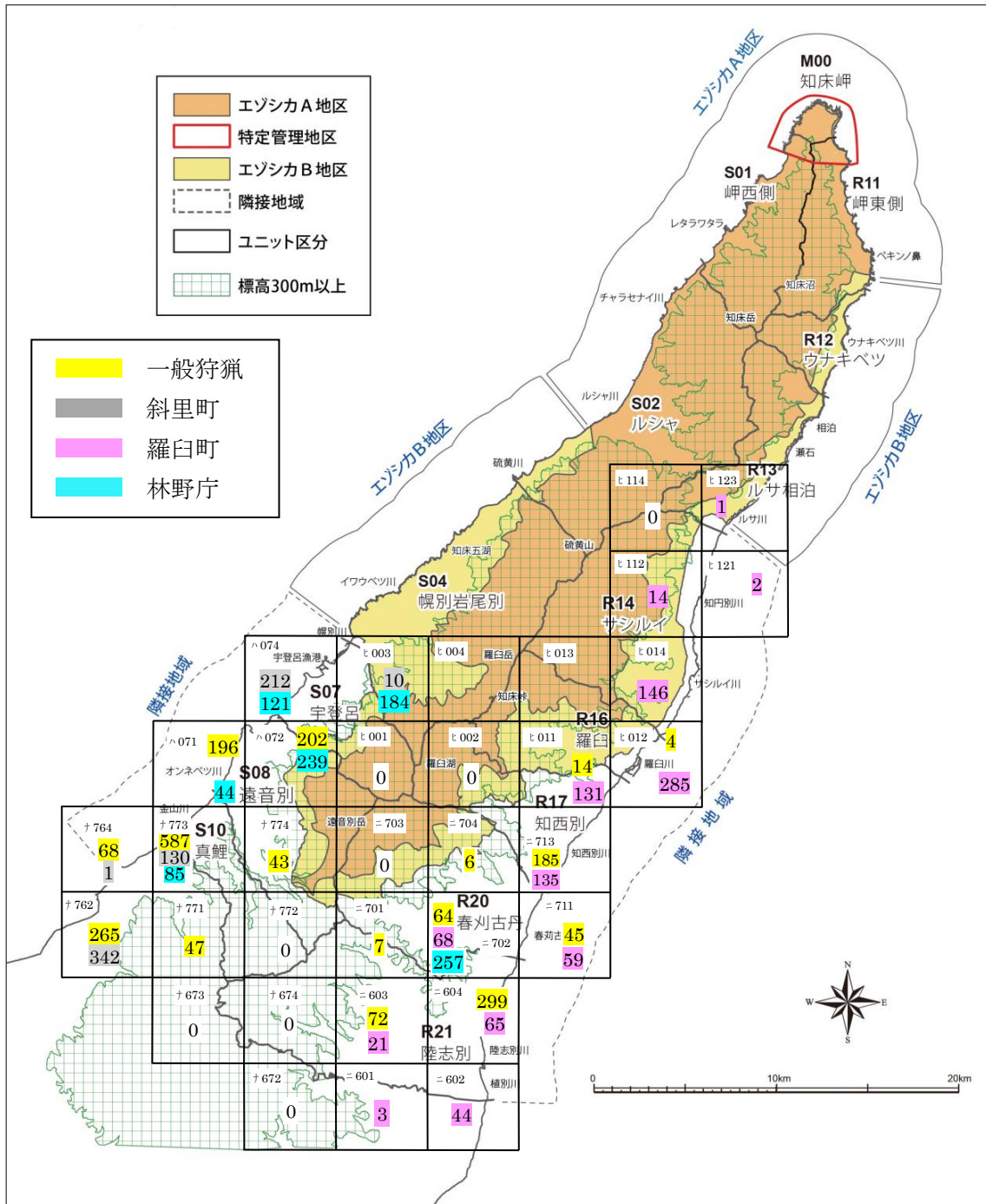


図1. 過去10年間の隣接地域における狩猟メッシュ (5km×5km) 別、捕獲主体別の捕獲頭数 (集計対象とした狩猟メッシュ)

表2. 過去10年間の隣接地域におけるエゾシカ捕獲頭数(捕獲メッシュ・捕獲主体別)

捕獲メッシュ(※)	捕獲主体	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	小計	計
†762(日の出)	一般狩猟	29	44	34	43	6	34	22	13	34	6		265	607
	斜里町	72	26	37	23	29	32	31	13	32	47		342	
†764(日の出)	一般狩猟	5	10	11	6	14	13	8	1	0	0		68	69
	斜里町		1										1	
†771(真鯉)	一般狩猟	15	9	1	8	2	4	8		0	0		47	47
†773(真鯉)	一般狩猟	135	100	48	92	107	60	23	13	1	8		587	802
	斜里町	33	78	14			2	1	2				130	
	林野庁					29	19	11	17	9	0		85	
†774(遠音別)	一般狩猟	23	16	2	1	1			0				43	43
=601(植別川)	羅臼町						1		1	1			3	3
=602(植別川)	羅臼町				8	3	12		14	4	3		44	44
=603(陸志別)	一般狩猟	9	8	10	14	3	4	4	6	14			72	93
	羅臼町								4	9	8		21	
=604(陸志別)	一般狩猟	31	38	13	32	17	58	30	46	34			299	364
	羅臼町		4		10	2	10	14	8	11	6		65	
=701(春刈古丹川)	一般狩猟	2	5				0			0			7	7
=702(春刈古丹)	一般狩猟	8	8	4	10	9	9	9	6	1			64	389
	羅臼町		2	20	3	4	17	1	7	5	9		68	
	林野庁	4	96	56					16	20	31	34	257	
=704(春刈古丹)	一般狩猟	6											6	6
=711(春刈古丹)	一般狩猟	8	19	4	4	5	1	2	0	2			45	104
	羅臼町		42	5		10	1		1				59	
=713(知西別)	一般狩猟	34	49	18	17	17	15	7	16	12			185	320
	羅臼町		27	10	5	26	17	10	21	18	1		135	
^071(遠音別)	一般狩猟	38	32	18	27	34	17	8	5	0	17		196	240
	林野庁					7	12	12	4	6	3		44	
^072(遠音別)	一般狩猟	21	20	9	36	37	24	36	3	12	4		202	441
	林野庁					41	71	29	16	15	9	58	239	
^074(宇登呂)	斜里町				53	45	55	9	6	20	24		212	333
	林野庁					19	58	18	11	8	7		121	
ℓ003(宇登呂)	斜里町	10											10	194
林野庁				35	23	26	29	16	21	7	27		184	
ℓ011(羅臼)	一般狩猟		5	5	2		1		1				14	145
	羅臼町			18	1	6	5	23	19	44	15		131	
ℓ012(羅臼)	一般狩猟					2		2					4	289
	羅臼町		58	44	27	37	37	21	50	4	7		285	
ℓ014(サシルイ)	羅臼町		12	16	22	21	37	11	9	15	3		146	146
ℓ112(サシルイ)	羅臼町			4		1		1	7	1			14	14
ℓ121(知円別川)	羅臼町		1			1							2	2
ℓ123(ルサ)	羅臼町								1				1	1
計		483	710	401	479	558	652	380	353	353	215	119	4703	4703

※各メッシュ:()内におよその位置を記載

表1-1. 隣接地域における生息密度及び捕獲頭数（斜里町側）

モニタリング ユニット名	知床半島エゾシカ保護管理計画 計画期間		第1期		第2期				第3期					捕獲頭数計	備考
	実行計画（シカ年度表記）		2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)		
S07 宇登呂	I. 航空カウント調査	上段：発見頭数（頭） 下段：発見密度（頭/km2）	-	221 16.41	-	-	-	-	58 4.31	-	-	-	-	44 3.27	面積=13.47km2 発見密度=上段値÷13.47km2
	II. 捕獲頭数（実績）		10	-	-	88	87	139	56	33	49	38	27	527	
捕獲主体別 捕獲頭数内訳（頭）			斜 10			斜 53 林 35	斜 45 林 42	斜 55 林 84	斜 9 林 47	斜 6 林 27	斜 20 林 29	斜 24 林 14	林 27	斜 222 林 305	
S08 遠音別	I. 航空カウント調査	上段：発見頭数（頭） 下段：発見密度（頭/km2）	-	435 19.19	-	-	-	-	91 4.01	-	-	-	-	121 5.34	面積=22.67km2 発見密度=上段値÷22.67km2
	II. 捕獲頭数（実績）		82	68	29	64	120	124	85	28	33	33	58	724	
捕獲主体内訳（頭）			狩 82	狩 68	狩 29	狩 64	狩 72 林 48	狩 41 林 83	狩 44 林 41	狩 8 林 20	狩 12 林 21	狩 21 林 12	林 58	狩 441 林 283	
S10 真鯉	I. 航空カウント調査	上段：発見頭数（頭） 下段：発見密度（頭/km2）	-	57 5.78	-	-	-	-	32 3.25	-	-	-	-	55 5.58	面積=9.86km2 発見密度=上段値÷9.86km2
	II. 捕獲頭数（実績）		289	268	145	172	187	164	104	59	76	61		1525	
捕獲主体別 捕獲頭数内訳（頭）			狩 184 斜 105	狩 163 斜 105	狩 94 斜 51	狩 149 斜 23	狩 129 斜 29 林 29	狩 111 斜 34 林 19	狩 61 斜 32 林 11	狩 27 斜 15 林 17	狩 35 斜 32 林 9	狩 14 斜 47 林 0		狩 967 斜 473 林 85	
オシンコシン～真鯉地区 日中カウント調査 最大発見頭数（頭）			505	757	517	472	238	192	121	40	110	75	143		知床財団独自事業 三段の滝（オショコマナイ川）～オチカ バケ川の国道334号線沿い（延長約 12km）

表1-2. 隣接地域における生息密度及び捕獲頭数（羅臼町側）

モニタリング ユニット名	知床半島エゾシカ保護管理計画 計画期間		第1期		第2期				第3期					捕獲頭数計	備考
	実行計画（シカ年度表記）		2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)		
R14 サシルイ	I. 航空カウント調査	上段：発見頭数（頭） 下段：発見密度（頭/km2）	-	85 3.55	-	-	-	-	141 5.89	-	-	-	-	129 5.39	面積=23.95km2 発見密度=上段値÷23.95km2
	II. 捕獲頭数（実績）		-	13	20	22	23	37	12	17	16	3		163	
捕獲主体別 捕獲頭数内訳（頭）				羅 13	羅 20	羅 22	羅 23	羅 37	羅 12	羅 17	羅 16	羅 3		羅 163	
R16 羅臼	I. 航空カウント調査	上段：発見頭数（頭） 下段：発見密度（頭/km2）	-	100 7.72	-	-	-	-	124 9.58	-	-	-	-	58 4.48	面積=12.95km2 発見密度=上段値÷12.95km2
	II. 捕獲頭数（実績）		-	58	44	27	39	37	23	50	4	7	-	289	
捕獲主体別 捕獲頭数内訳（頭）				羅 58	羅 44	羅 27	狩 2 羅 37	狩 2 羅 37	羅 21	羅 50	羅 4	羅 7		狩 4 羅 285	
R17 知西別	I. 航空カウント調査	上段：発見頭数（頭） 下段：発見密度（頭/km2）	-	76 3.75	-	-	-	-	25 1.24	-	-	-	-	16 0.79	面積=20.24km2 発見密度=上段値÷20.24km2
	II. 捕獲頭数（実績）		34	81	51	25	49	38	40	57	74	16		465	
捕獲主体別 捕獲頭数内訳（頭）			狩 34	狩 54 羅 27	狩 23 羅 28	狩 19 羅 6	狩 17 羅 32	狩 16 羅 22	狩 7 羅 33	狩 17 羅 40	狩 12 羅 62	羅 16		狩 199 羅 266	
R20 春刃古丹	I. 航空カウント調査	上段：発見頭数（頭） 下段：発見密度（頭/km2）	-	192 5.72	-	-	-	-	107 3.19	-	-	-	-	97 2.89	面積=33.58km2 発見密度=上段値÷33.58km2
	II. 捕獲頭数（実績）		28	172	89	17	28	28	12	30	28	40	34	506	
捕獲主体別 捕獲頭数内訳（頭）			狩 24 林 4	狩 32 羅 44 林 96	狩 8 羅 25 林 56	狩 14 羅 3	狩 14 羅 14	狩 10 羅 18	狩 11 羅 1	狩 6 羅 8 林 16	狩 3 羅 5 林 20	羅 9 林 31	林 34	狩 122 羅 127 林 257	
R21 陸志別	I. 航空カウント調査	上段：発見頭数（頭） 下段：発見密度（頭/km2）	-	0 -	-	-	-	-	60 1.17	-	-	-	-	3 0.06	面積=51.17km2 発見密度=上段値÷51.17km2
	II. 捕獲頭数（実績）		40	50	23	64	25	85	48	79	73	17		504	
捕獲主体別 捕獲頭数内訳（頭）			狩 40	狩 46 羅 4	狩 23	狩 46 羅 18	狩 20 羅 5	狩 62 羅 23	狩 34 羅 14	狩 52 羅 27	狩 48 羅 25	羅 17		狩 371 羅 133	

表1-3. 隣接地域における生息密度及び捕獲頭数（隣接地域計）

捕獲地域	知床半島エゾシカ保護管理計画 計画期間 実行計画（シカ年度表記）	第1期		第2期					第3期					捕獲頭数計	備考
		2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)		
斜里町側	発見頭数計（頭）	-	713	-	-	-	-	181	-	-	-	-	220	S07 宇登呂、S08 遠音別、S10 真 鯉 面積=13.47+22.67+9.86=46km ² 発見密度=上段値÷46km ²	
	発見密度（頭/km ² ）	-	15.50	-	-	-	-	3.93	-	-	-	-	4.78		
	捕獲頭数計（頭）	381	336	174	324	394	427	245	120	158	132	85	2776		
捕獲主体別 捕獲頭数内訳（頭）	狩	266	231	123	213	201	152	105	35	47	35			1408	
	斜	115	105	51	76	74	89	41	21	52	71			695	
羅臼町側	発見頭数計（頭）	-	453	-	-	-	-	457	-	-	-	-	303	R14 サシルイ、R16 羅臼、R17 知 西別、R20 春刃古丹、R21 陸志別 面積=23.95+12.95+20.24 +33.58+51.17=141.89km ² 発見密度=上段値÷141.89km ²	
	発見密度（頭/km ² ）	-	3.19	-	-	-	-	3.22	-	-	-	-	2.14		
捕獲頭数計（頭）	102	374	227	155	164	225	135	233	195	83	34	1927			
捕獲主体別 捕獲頭数内訳（頭）	狩	98	132	54	79	53	88	54	75	63				696	
	斜		146	117	76	111	137	81	142	112	52			974	
隣接地域計	発見頭数計（頭）	-	1166	-	-	-	-	638	-	-	-	-	523	面積=46+141.89=187.89km ² 発見密度=上段値÷187.89km ²	
	発見密度（頭/km ² ）	-	6.21	-	-	-	-	3.40	-	-	-	-	2.78		
捕獲頭数計（頭）	483	710	401	479	558	652	380	353	353	215	119	4703			
捕獲主体別 捕獲頭数内訳（頭）	狩	364	363	177	292	254	240	159	110	110	35			2104	
	斜	115	105	51	76	74	89	41	21	52	71			695	
捕獲主体別 捕獲頭数内訳（頭）	羅		146	117	76	111	137	81	142	112	52			974	
	林	4	96	56	35	119	186	99	80	79	57	119		930	

注1：航空カウント調査のデータは「公益財団法人知床財団 2021. 環境省請負業務 令和2年度知床生態系維持回復事業エゾシカ航空カウント調査業務報告書. 公益財団法人知床財団」p. 20 表7による。

注2：斜里町、羅臼町、林野庁における捕獲頭数は有害捕獲事業による捕獲頭数。

注3：R2における斜里町及び羅臼町の捕獲頭数は集計中で不明のため林野庁分のみ記載。

注4：斜里町における捕獲頭数のうち、平成22年から平成24年の捕獲頭数は、農林水産省緊急捕獲補助金による捕獲頭数（北海道庁所有のデータ）を集計。平成25年から令和2年の捕獲頭数は、町の有害捕獲奨励金の支出対象となった捕獲頭数にその他有害捕獲事業による頭数（計176頭）を加算して集計（斜里町所有のデータ）。

注5：羅臼町における捕獲頭数は、農林水産省緊急捕獲補助金による捕獲頭数（羅臼町所有のデータ）を集計。

注6：一般狩猟の捕獲頭数は捕獲許可証記載の頭数（北海道庁所有のデータ）を集計。

注7：捕獲頭数の集計対象としたメッシュは別添の位置図を参照。

注8：捕獲頭数については、捕獲主体別の内訳を記載（狩：一般狩猟、斜：斜里町、羅：羅臼町、林：林野庁）。

注9：表中の一部の植生モニタリングユニットにおいては、エゾシカ航空カウント調査の対象範囲は遺産地域を含む。

地域の意見

1. 現在の密度感について斜里地区（密度：4.78頭/km²）

- ・市街地内に1~2頭いるだけで家庭菜園の作物が被害に遭うので困る。（斜里）
- ・かつては多く見ることができたシカがいなくなり、お客さんにみせられなくなって困っているとの観光サイドからの話がある。（斜里）
- ・現状に不満はない。もう少し減っていてもいいと思う。（利活用事業者）
- ・現状でちょうどいいと考えている。事業としての費用対効果は悪いが、地域の状態としてはいいと思っている。当初より、シカを減らしながら有効活用もできればとの考えで始めているので減っている状況は望ましいと考えている。（利活用事業者）

羅臼地区（密度：2.14頭/km²）

- ・市街地では激減しているが、峯浜などの農地ではまだまだ多い。減っている感じはしない。シカが伝染病の媒介となっている話もありシカが多いと心配である。（農家）
- ・羅臼ではシカ目的の観光客はいないので現状に特に問題はない。（観光業）
- ・シカが減ったというより、警戒心が強くなったという印象。昔は山の上にシカの足跡はなかった。越冬場所が山深い箇所に移っており、見えていないだけだと思う。減っているとの感じはしない。（ハンター）

2. 現計画について

- ・（斜里地区・羅臼地区ともに）特に意見はなかった。

3. 次期計画について

- ・（斜里地区・羅臼地区ともに）特に意見はなかった。

4. 目標値の設定及び数値について

- ・（斜里地区・羅臼地区ともに）特に意見はなかった。

5. その他

斜里地区
<ul style="list-style-type: none">・意見交換ができる場があってよかった。(斜里)・若いハンターの育成のためにも<u>猟場となる可猟区を確保してほしい</u>。(斜里)・捕獲した個体の<u>廃棄費用が狩猟者の負担になっている</u>。(羅臼)
羅臼地区
<ul style="list-style-type: none">・認証制度の取得を要請されているが<u>設備投資には個人では限界がある</u>(利活用)。・捕獲を進めるためには後処理が必要。<u>捕獲した後のことを考えると躊躇する</u>。(ハンター)・<u>残滓の処理を何とかならないか</u>。(ハンター)・一生懸命捕獲しているが困るのは残滓の処理だ(ハンター)。・<u>峯浜地区、春苧古丹地区(林野庁で個体数調整を実施)で狩猟ができるようにしてほしい</u>。(ハンター)